

平成27年度

# 市政世論調査概要

第 6 9 集

和 歌 山 市



## はじめに

現在、全国的に少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めをかけるべく、国と地方が総力を挙げて「地方創生」の取組を進めています。本市においても、「和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定し、その中で掲げた「雇用の創出」、「新しい人の流れ」、「子育て支援」、「時代に合った地域づくり」という4つの基本目標を達成するための様々な施策が平成28年度から本格的に動き出します。今後もスピード感を持って、「きらり輝く 元気和歌山市」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

また、今年、江戸幕府八代将軍徳川吉宗の将軍就任300年の節目の年であり、和歌山市の歴史を効果的にPRすることで、大勢の観光客を呼び込むチャンスとなる年であると捉え、魅力溢れる和歌山市を積極的に発信してまいります。

この冊子は、アンケート調査した結果を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映させていただくことを目的とした貴重な資料であります。

ここに平成27年度市政世論調査概要（第69集）をとりまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

和歌山市長 尾花 正 啓



### 和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

（色は決まっていない。）

### 市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

# 目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	10
II. 調査の結果	15
1. 市政一般について	15
2. 南海和歌山市駅周辺の活性化について	16
3. 和歌山市立伏虎中学校の跡地の活用について	28
4. 男女共生について	38
5. 人口減少・少子化対策について	40
6. 災害や防犯対策について	48
7. スポーツについて	69
8. 健康について	73
9. 中央卸売市場の観光市場化（道の駅）について	83
10. 和歌山市の取り組みに対する満足度・重要度について	90
11. 和歌山市の市政について（自由意見）	104
III. 調査票	109

## ※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「1038」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。